

令和6年5月31日

都道府県教育委員会 殿
市区町村教育委員会 殿
国・公・私立小学校長 殿
国・公・私立中学校長 殿
国・公・私立高等学校長 殿
国・公・私立中等教育学校長 殿
国・公・私立義務教育学校長 殿

全国歴史教育研究協議会会長 南 和男
(白梅学園清修中高一貫部校長)
第65回研究大会実行委員長 上原 一孝
(埼玉県立川口高等学校長)

全国歴史教育研究協議会 第65回研究大会（埼玉大会）の御案内

日頃より当研究協議会のために、格別の御支援、御高配を賜りまして厚く感謝申し上げます。

さて、全国歴史教育研究協議会では「歴史教育における探究とは何か」を大会テーマとして、第65回研究大会を開催することになりました。今回は教育のDX化を踏まえ、オンラインと対面によるハイブリッド形式での開催といたします。

つきましては、一人でも多くの先生方の御参加をいただき充実した大会となりますよう、公務多用の折から誠に恐縮ではございますが、貴管下関係教職員の大会参加につきまして特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。なお、本案内を貴校の分校・定時制・通信制課程等の教職員の方々にもお知らせいただければ幸甚に存じます。

記

- 1 期 日 令和6(2024)年 7月25日(木)～7月27日(土)(27日(土)は、史跡見学です。)
- 2 会 場 浦和コミュニティセンター(浦和PARCO 10階)
埼玉県さいたま市浦和区東高砂町11番1号
<最寄駅>
JR浦和駅東口から徒歩1分
- 3 主 催 全国歴史教育研究協議会
埼玉県高等学校社会科教育研究会歴史部会
- 4 後 援 埼玉県教育委員会
さいたま市教育委員会
小川町教育委員会
公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
- 5 形 態 オンラインと対面による開催。参加方法については下記の申し込み方法を御覧ください。
大会終了後、8月1日(木)～9月30日(月)までアーカイブにて視聴可能(予定)



I 大会日程・会場

■日程■	9:30	10:00	11:00	13:00		17:00	17:30	19:30
7月25日(木)	受付	総会	昼食	分科会		移動		情報交換会

	9:00	9:30		12:00	13:30	15:00	15:30	16:00
7月26日(金)	受付	第1分科会(シンポジウム)	昼食	記念講演	閉会集会	史跡見学 説明		

	9:30		16:00
7月27日(土)	史跡見学	「鉄道150年その後と新紙幣の顔 渋沢栄一を訪ねて」 鉄道博物館(さいたま市大宮区)、渋沢栄一関係史跡(深谷市)等	

※ 7月27日(土)の史跡見学は希望者のみ

■大会会場■

浦和コミュニティセンター(浦和PARCO 10階) 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町1-1番1号

■情報交換会■

串焼亭ねぎ 浦和店 埼玉県さいたま市浦和区仲町2丁目1番2号

参加人数を事前に把握するため、参加ご予約の方はお申し込み時にチェックをお願いいたします。

会費は当日集金いたします。

■その他■

駐車場はございませんので、公共の交通機関等でお越しください。

II 総会(7月25日(木)10時00分~11時00分)

III 記念講演(7月26日(金)13時30分~15時00分)

土屋 武志 氏(愛知教育大学名誉教授)『高校で歴史学習がなぜ必要か?—解釈型歴史学習の新たな役割—』

IV 分科会

第1分科会(7月26日(金)9時30分~12時00分 シンポジウム)

テーマ 「歴史教育における“探究”とは何か」

パネリスト 渡邊 大地(前埼玉県立浦和高等学校・主幹教諭)

會田 康範(学校法人学習院 学習院高等科・教諭)

野々山 新(愛知県立大府高等学校・教諭)

下山 忍(東北福祉大学・教授)

コーディネーター 小林 武史(埼玉県立新座高等学校・教頭)

第2分科会～第5分科会（7月25日（木）13時00分～17時00分）

第2分科会（歴史総合） 「歴史総合における授業展開」

松本 優介（埼玉県立大宮高等学校・教諭）

歴史総合「で」探究をつなぐ ―歴史総合と総合的な探究の時間との接続を中心に―

岩崎 望（埼玉県立坂戸高等学校・教諭）

資料から読み解く歴史総合 ―光も影も栄養にして―

渡邊 泰斗（神奈川県立横浜国際高等学校・教諭）

歴史総合の授業実践 ―生徒が歴史を読み解き、考え、書く―

第3分科会（日本史） 「日本史探究における授業展開」

杉本 祐輝（埼玉県立深谷高等学校・教諭）

日本史探究における問いと仮説での実践について

浅岡 宏二（学校法人武南学園 武南中学校・高等学校・教諭）

近世史料を読み解く

堀越 直樹（学校法人昌平学園 昌平中学校・高等学校・教諭）

歴史総合から日本史探究へ ―教科書を中心に据えて時代の特徴と展開を考察する実践―

第4分科会（世界史） 「世界史探究における授業展開」

山形 友広（筑波大学付属中学校・教諭）

小学校の人物学習から高校の総合・探究科目への掛橋 ―中学校での実践を例に―

白井 聡子（埼玉県立浦和第一女子高等学校・教諭）

世界史探究における生徒の多角的な視点を育成する取り組み

植原 督詞（群馬県伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校・教諭）

議論を基盤とした世界史学習の評価方法 ―授業における生徒の議論をいかに評価すべきか―

第5分科会（歴史教育と地域連携） 「地域との連携による探究的な学び～小中高で深めるおがわ学の試み～」

篠澤 和泉（埼玉県小川町立小川小学校・教頭）

松下 遼河（埼玉県小川町立東中学校・教諭）

岡本 敏明（埼玉県立小川高等学校・教頭）

コーディネーター 葺塚 雄一（小川町教育委員会おがわ学コーディネーター／元埼玉県立小川高等学校・校長）

おがわ学は、平成31年度から3年間文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に指定されました。小川町立小・中学校及び埼玉県立小川高等学校の児童生徒が、小川町の地域資源を題材として、地域の歴史や文化、産業等について知り、段階的に学びを深めていきながら、地域活動への参画などを行ってきました。

V 史跡見学 [7月27日（土）]（日帰りコース・貸切りバス使用）

「鉄道150年その後と新紙幣の顔 渋沢栄一を訪ねて」
9:30 浦和駅集合 →10:00～12:00 鉄道博物館見学（学芸員より展示解説・自由見学） →車中にて昼食（駅弁） →14:00～15:30 渋沢栄一関係史跡[渋沢栄一記念館・中ん家（旧渋沢邸）・ホフマン窯（旧煉瓦製造施設）]見学 →深谷駅（車窓） →熊谷駅 16:00 頃解散予定

VI 大会参加申し込み要領

1 大会費用 一般 4,000円

学生 3,000円

※今回から資料のみの参加はございません。

2 史跡見学費 6,000円

3 申し込み方法

- (1) 全国歴史教育研究協議会のHPから申し込みWEBサイト (Peatix) にアクセスしていただくか、以下の申し込みWEBサイトに直接アクセスして必要な手続きを行ってください。
 - ・大会申し込みWEBサイト <https://zenrekikensaitama65.peatix.com/>
 - ・発表資料やオンライン配信に関する情報は、申し込み完了後、申し込みWEBサイト (Peatix) 上で御確認ください。
 - ・申し込みに関する問い合わせは、下記5までお願いいたします。
- (2) 大会当日の資料は電子資料となります。事前にデータをダウンロードの上、ノートパソコン、タブレット等を御持参いただくか、プリントアウトをお願いいたします。
なお、大会当日の質疑では、スマートフォン、ノートパソコン、タブレット等を使用してQ&Aプラットフォームのアプリ (Slido) を活用します。
- (3) 払い込まれた大会費用は不参加の場合でも原則としてお返しいたしませんので、予め御了解ください。
- (4) オンライン配信が途切れた場合は後日アーカイブ映像を配信いたしますので、御容赦ください。
- (5) 電話でのお申し込みには応じかねますので、御遠慮ください。
- (6) 準備の都合上、参加申し込みの締め切りは7月19日(金)とさせていただきます。
- (7) 大会に参加できない方は、年会費(2,000円)の納入に御協力ください。年会費を納入された方には『全歴研研究紀要』を送付いたします。下記6の問い合わせ先へ御連絡の上、下記の口座へ納入してください。
三菱UFJ銀行 浜田山出張所 0012570
全国歴史教育研究協議会 代表 南 和男



4 事務局

全歴研第65回研究大会(埼玉大会)事務局
埼玉県立羽生第一高等学校 教諭 多田 万里子
メール tada.mariko.be@spec.ed.jp

5 申し込み・オンラインに関する問い合わせ先

埼玉県立大宮光陵高等学校 教諭 金間 聖幸
メール kanama.toshiyuki.01@spec.ed.jp

※オンラインに関するお問い合わせは基本的にPeatix経由でお願いいたします。

6 その他に関する問い合わせ先(全歴研事務局)

東京都立文京高等学校 主任教諭 豊田 基裕
メール zenrekikentoyotama@yahoo.co.jp